

要介護高齢者、その家族に 潜在した発達の偏りに気づく —こだわりや独特な考え方や言動、 援助のし難さには「理由」がある

教育と人間関係の相談室カンナ
代表 木下 秀美

精神保健福祉士
特定非営利活動法人ノンラベル 副理事長
日本児童青年精神医学会会員

<http://web.kyoto-inet.or.jp/people/kinopy/> Twitter *kinopy1961*

定型者と違う「個性」と「特性」

+ どこまでが「個性」？

+ どこからが「特性」？

※「特性」は生まれ持った気質や物事の捉え方、考え方。また、それによって、成長過程での経験から作られて行った認知パターン＝「クセ」も含めて考えます。

誰にでもある違いや偏り (1)

※お二人に協力していただきます。

+ 得意科目は？

+ 不得意科目は？

※いつそう思うようになりましたか？

誰にでもある違いや偏り (2)

- + 日々の生活でこだわっていることは？
- + 食べ物などで好きなものは？
- + 食べ物などで嫌いなものは？

誰にでもある違いや偏り (3)

+ 自分は他者に気遣いができる方？

※いつそう思うようになりましたか？

+ 自分の短所をあげるとすれば？

誰にでもある違いや偏り (4)

- + 町内会、PTA, 職場等の役や当番があたり
そうなときはどうしますか？
- + その理由は？

誰にでもある違いや偏り (5)

+ 大好きなものの食事制限を言われて納得できるのはどっち？

● かかりつけの町医者

● 専門ではないが大病院の近接領域で
評判の医師や院長

こんな人、いましたね。

- + ノーベル賞受賞の日本人で、英語のスピーチはしないとこだわる人。
- + アメリカのバン・クライバーン国際ピアノコンクールで優勝した全盲の天才ピアニスト辻井伸行氏。
- + 大作曲家モーツァルトの最後を知っていますか？

※研究者により諸説ありますが、天才脳と発達の偏りの関係性は深いとされるものが増えています。

人間の育ちの過程、段階、課題

+ 愛着形成

特に乳児期における主たる養育者との信頼関係

+ 思春期（人生第2の急進的成長期）

第二性徴と自我同一性形成

相手の気持ちを理解する、自分を大切な存在と思う

※対人相互作用面の能力発達に深く、濃く影響する成長過程です。

ここでの「つまずき」は、後の人格形成に負の影響を与えます。

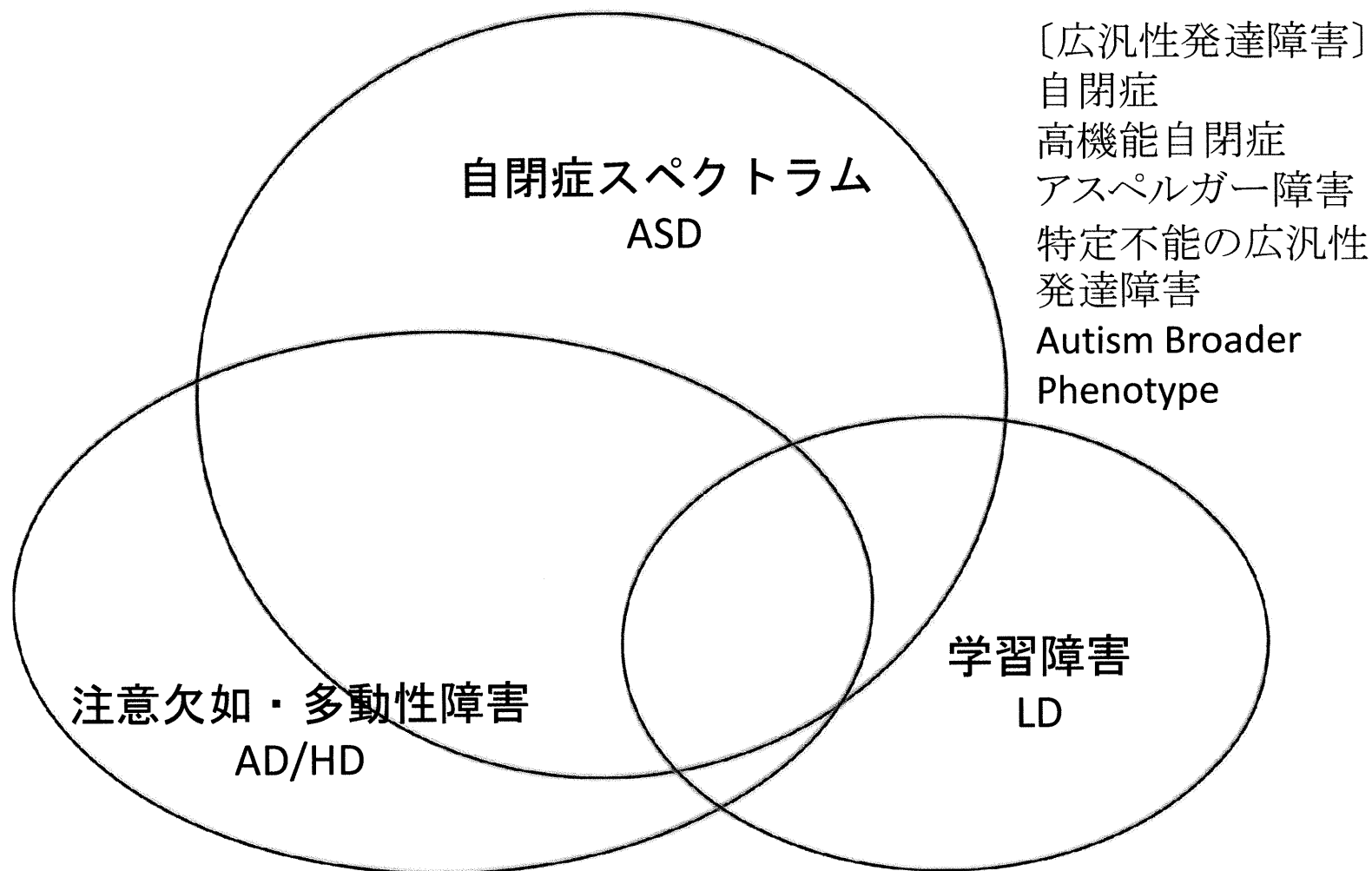
思春期・青年期の獲得課題

- + いろいろあっても（特に対人関係での）ストレス体験をどう捉えてきたか、うまく処理できてきたか、そのスキルを獲得できたか？
- + 自分が自分であって良い、大切な存在と自己評価を得られたか？
- + 同様に、人もそれぞれの考え方を持つ大切な存在と認識できるようになったか？

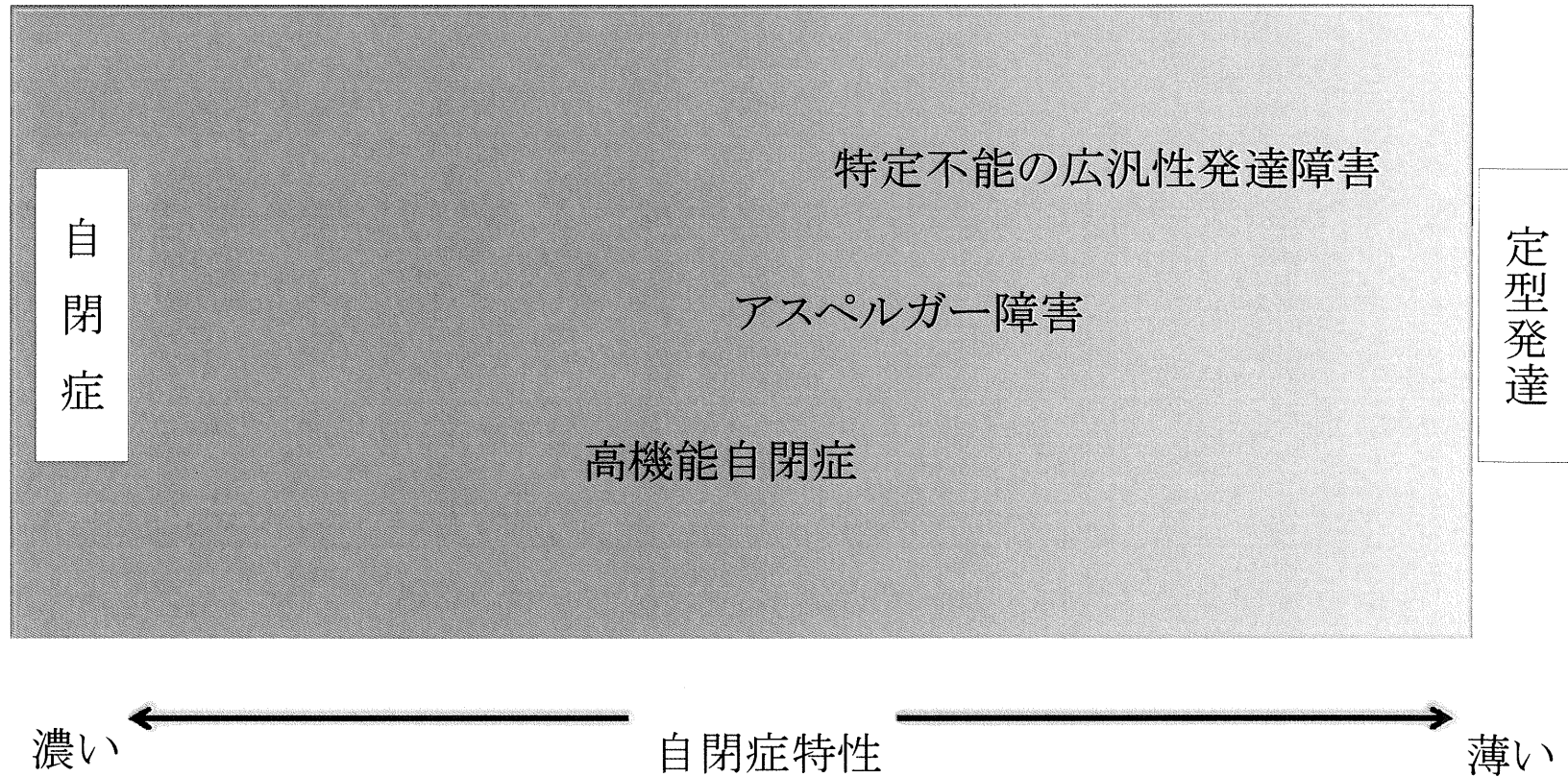
※豊かな対人関係の中でこそ「獲得」できる課題です。

発達障害についての基本的理解の為に


発達障害概念の歴史は長くて短く、誤った理解の歴史でもある



自閉症スペクトラム (ASD) の 連続性



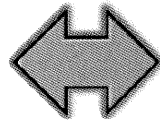
自閉症スペクトラム (ASD) の 基本特性

- 全体をまとめることは苦手。
 - 興味の幅が狭い。
 - 応用や手抜きは苦手。
 - 順次処理は苦手。
 - 感覚：五感の過敏・鈍感に激しい差がある。
- 
- 部分に注目することは得意。
 - 興味あることには集中。
 - いったん習得したことは律儀に実行。
 - 同時処理は得意。
 - 才能になる事もある。

(門真一郎氏作成の資料に加筆)

自閉症スペクトラム (ASD) の 基本特性

- 言葉を耳で聞いて理解することは苦手。
- 抽象的であいまいなことの理解は苦手。
- 経験していないことを想像するのは苦手。
- 「字義通り」に解釈する。柔軟性に欠ける。屁理屈をこねる（ウソと思える）。



- 目で見えて理解することは得意。
- 具体的で明確なことの理解は良好。
- 経験したことを記憶することは得意。
- 論理や正確さにひかれる。
- 規則やルールは厳格に守ろうとする。

(門眞一郎氏作成の資料に加筆)

自閉症スペクトラム (ASD) の 最も重要な特性

- + 音声言語だけでは理解しにくい人たち（記憶情報の処理、聞こえ方）。
- + 視覚的に理解する人たち（写真やビデオのような記憶）。
- + 不適切な視覚刺激に惑わされる（見え方）。
- + シングルフォーカス、シングルタスク
= 同時に2つの情報処理は困難。

(門眞一郎氏作成の資料に加筆)

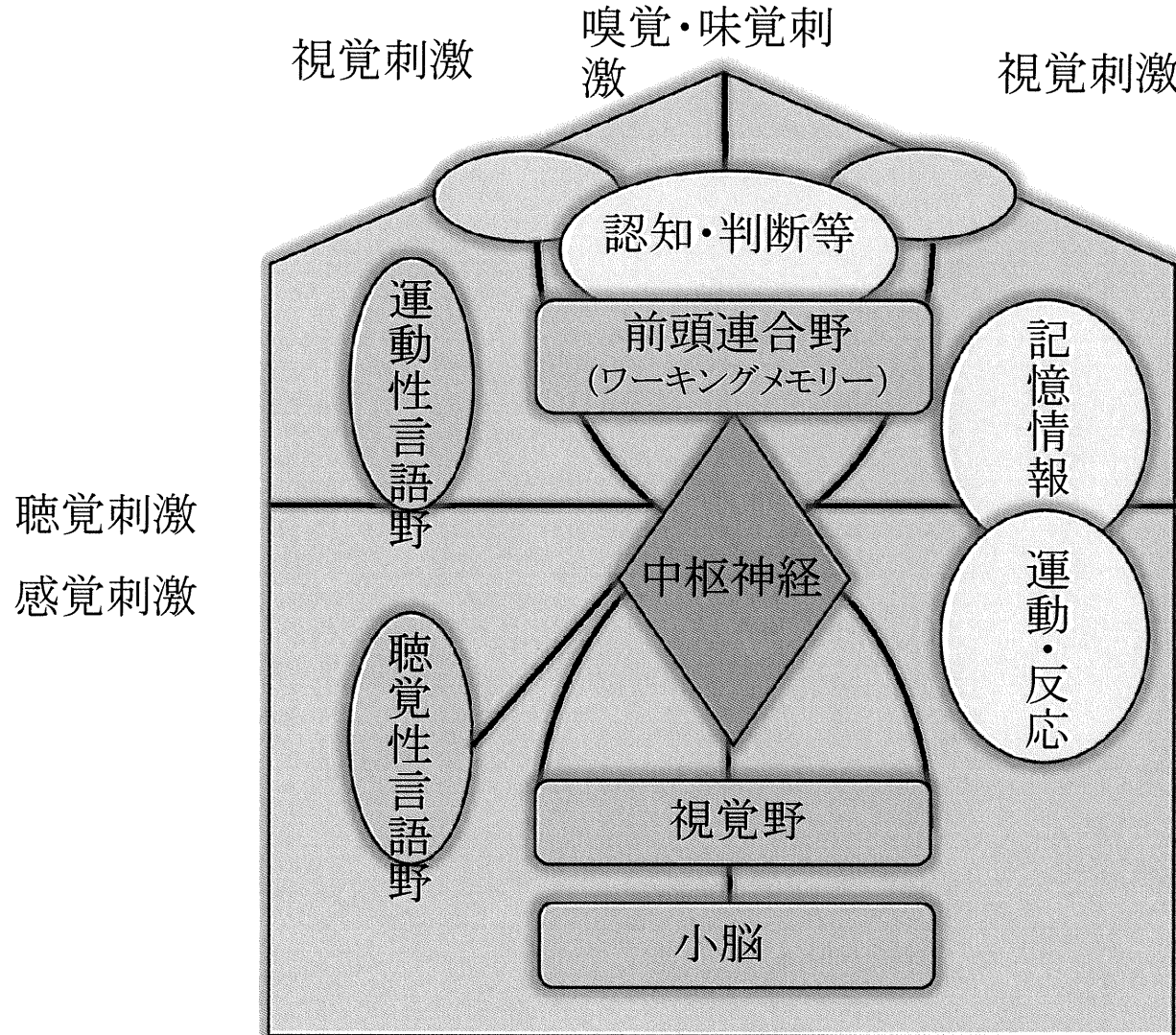
脳機能、タイプ、文化の違い としてとらえる

- + 目立ちやすい「困り行動」から、関わる人がマイナス評価を持ちやすい。
- + プラス評価できる、すべき得意な面は個性的すぎることが多いが、「変わっている」「それでは食べていけない」と平均的な尺度で切り捨ててしまわれてきた。

脳機能、タイプ、文化の違い としてとらえる

- + その人らしく生きられる社会であるか否かは、発達障害のある人の自己評価を見ればわかる。
- + 目立ちやすい「困り」特性は見え易いが本質的な「困り」とは限らない。
- ※何を理解し、優先するか、支援は量が決められてしまうが、視点は学びや体験の量から無限に広がり、抱え込むことをやめられる(介護保険にこだわる必要はない)。

脳の機能から考えてみる



※知覚された情報は中枢神経を通り、前頭連合野で認知され、記憶情報等と相互に情報処理・判断され、運動・反応へと命令情報が流れる。

育ち切れていないと思われる 「弱さ」や特性

- + メタ認知——その状況で自分は何を（優先して）すべきか？（自分を客観視する力）
- + ミラーニューロン機能（他者の模倣・学び）
- + 自己肯定感を育てる体験が少なく、自己否定的・他罰的な感情になりやすい＝感情のコントロール力。
- + 文脈でなく単語や表現にこだわるために、要点が理解できない。
- + 実行機能——指示がないと動けない、自分で予定を立てる、人に手順を教える。

まず、その人の特性に気づくことから

- + 得意なこと、優れたことは伸ばすが基本。
- + 苦手なことは、「修正」「矯正」「変容」しようとするのではなく、「違うやり方」で「できる」体験によって補うが基本。
- + 「できた」事は、新たなやり方としてルール化（構造化）していく。
- + 「困っている」のは、支援者もだが、一番困っているのは本人（自覚できてない場合も多い）という視点が大切。

苦手な認知をプライドを傷つけず に補うことから信頼関係を

- + 否定、非難、叱りは厳禁！
- + 理解される体験の少ない人が多いので、まず聴く、聴く。
- + 「定型タイプー標準的であること」に当てはめようとするとう自己否定観が強まるだけ。
- + 理解してくれる人かどうか（見方か敵か）の判断は「○」か「×」、中間はない。

他の留意点のいくつか

+ 生育歴を可能な限り聞く——脳中枢の機能的障害——幼少期から何らかのプロフィールがある

※一人遊び多い、ごっこ遊びできない、友だちがいないかいても少数、こだわりや常同行動、言葉が少ない・遅い…。

+ 視覚優位か言語優位か

(情報の認知やワーキングメモリー、記憶など)

※視覚優位が多く「視覚的構造化」が有効。いずれかに偏っている場合が多い。女性は言語能力が高い！

他の留意点のいくつか

- + 「構造」とは、場面の「意味」と「見通し」。
 - + いつ、どこで、誰が、何を、どのように、いつまでに…。
 - + 「構造化」とは、それらの情報を明確に、本人にわかるように伝えること。
 - + 「構造化」の目的は、その人の生活をより楽にすることであり、支援の「手段」にしてはならない（見抜かれます）。「構造化」すると「楽」と感じるようになる。
 - + これから何をするか、それはいつまでかなど、「見通し」が立つと不安軽減、変更への対応、待つこと、自発的行動の選択、などができるようになる。
- ※その人オリジナルの、さまざまな「構造化」（ルール化）を考え、見つけて行きましょう。

他の留意点のいくつか

- + 自分から困っていることを言葉で上手く表現できない（文章構成力、ワーキングメモリーの弱さなどから）。
- + 単語や言葉は多くを知っているが、意味や使い方を理解していないことが多く、そのことでバカにされたり、虐められたりを経験すると、言語的コミュニケーションを避けるようになっていく。

ご家族の関係性を知る

- + しんどくなるのも、楽しくなるのも、人との関係性。
- + 一番身近なご家族は、毎日の支援者である。
- + 本人さんとの関係性で、しんどくなるのも、楽しくなるのも、ご家族。
- + その家の人との関係性を知ること、ご家族の気持ちにより添い、支えることが、優先される支援も多々ある。
- + 会話、意思疎通、わかり合える家族関係に。

他の留意点のいくつか

- + 感覚過敏、鈍感の把握。
- + ある刺激（主に視覚）が気になって、他のことに集中できない。
- + 否定や非難、叱責、叱咤激励などから苦手意識のみが強化され、諦めつつも、悔しさから「見返してやりたい」「仕返ししてやりたい」など、自己評価が高まるまで「自責」と「他罰」を繰り返す。

他の留意点のいくつか

+ 二次障害や誤診・誤薬

抑うつや神経症状などの重ね着が前面に見えてしまうため、基盤にある発達障害特性が見落とされてしまってきた。

+ マイノリティーとのインクルージョン

その人らしく生きられる支援こそが支援者に求められている。

※自閉症は1%～、発達障害全体で6～7%とよく言われるが、スペクトラム（連続体）概念で捉えると、相当な割合になると考えられる。ぱっと見が「普通」でも、本人は自分でもわからない「困難さ」をずっと抱えているために自己認知できないでいる。「違い」を「特性」として気付き、「困難さ」への部分的サポートで生活を楽にすることが支援者に求められている。

他の留意点のいくつか

- + 自閉症スペクトラムの独特の認知や対人関係、記憶情報処理、各種能力の凸凹と、認知症、高次脳機能障害による認知・記憶などの脳機能障害は、ぱっと見の類似性が高く見分けにくい。
- + 現在生じている脳の機能障害が、加齢や脳損傷などによって生じたものか、それ以前から持っておられるものか、それらが加算されMIXされたものかを見分け、それぞれに応じた支援を考えなければならない。（特性、後天的障害、失われていく機能…の視点が大切）

他の留意点のいくつか

- + ストレングス（できること、得意なこと）と肯定的評価（人としての良さを褒める）に支援の視点を！
- + こだわりや独特な考え方や言動、援助のし難さには「理由がある」のです。
- + ご家族や家系に、似た特性をお持ちの方がいる場合がほとんどです（遺伝的要因は否定できない）。

〔参考図書〕

- わかりやすい図解説明の入門書としておすすめ！

『大人のアスペルガー症候群』

監修：佐々木正美・梅永雄二（講談社）

- 生活支援の現場の相談事例3,000件からわかりやすく特性と関わり方の事例を紹介

『パスポートは特性理解』

NPO法人ノンラベル副理事長 田井みゆき著
（クリエイツかもがわ）

- 医学的、学術的な解説から、支援の現状、具体的な支援の提案！

『アスペルガー症候群』

岡田尊司著（幻冬舎）

- 特性を理解し、生きづらさを改善していくノウハウ（本人さんと周囲の人の）

『発達障害でつまづく人、うまくいく人』

備瀬哲弘著（ワニブックス）

最後に

「介護保険」のサービス提供の視点からは、加齢にともなう身体や認知の機能的な衰えや障害という表面的な問題・課題への支援や環境調整、機能回復といったことが中心に据えられます。しかし、認知症による記憶の障害や認知の変化だけでは説明がつかない事態が現場では生じていて、また高齢者介護支援者で障害者自立支援法やそれにもとづく福祉サービスを理解している人は少ないのも現実問題です。

支援が入りにくい、言葉での説明や環境調整のための家具の配置や補助具の導入に反発して受け入れてもらえない、こだわりが強い、対人関係で頻繁に問題を起こすなどなど、様々な課題に対応しきれず、どう考えていけばいいのか壁にぶつかっている状態の対象者がおられると思います。

身体的な機能の低下は介護保険サービスを優先させつつ、必要な場合に身体及び精神・発達障害に対する障害者自立支援法にもとづく福祉サービスをうまく組み合わせて提供していくことが大切なのは言うまでもありません。

一方、認知機能の低下や変化については、加齢によるものか、以前からそうした認知パターンがあったかで、対応の考え方・支援のあり方は変わってきます。対人相互作用（関係性）、社会性、こだわりや独特の考え方や「俺ルール」、正直でウソが言えず、頼まれると「嫌」と言えない、被害妄想的に考えるなどの考え方のクセなどが若い時からあったとすれば、自閉症スペクトラムの特性をお持ちの上に、加齢による認知機能の変化や障害が加わったと捉える必要があるでしょう。

発達障害が基盤にあってのものか、加齢によるものかの見分けは、生育歴の聴き取り把握と家族性（ご家族・直系親族などに似た傾向の人がいること）の有無の2つがまずは基本かと思います。早期発見・療育の必要性から、乳幼児から学齢期（特別支援教育も含めて）の診断や支援は進んでいます。成人期が昨今取り上げられるようになったところで、高齢者となると「別問題」と考えてしまうのが実情でしょう。でも、発達障害は最近急に生じたものではなく、アインシュタインをはじめ偉業をなした歴史的に著名な人たちが多数いることから、ずっと昔から、人類が人間社会を構築していった過程ではすでに脳の機能的な違いのある人として存在しつづけていると思われまますので、「高齢者の中にも〇%程度はいて当たり前」として、その人のよりよき残りの人生のサポートができるよう、支援者は学び知恵をしぼって新たな援助方略を見つけていって欲しいと思います。

**経験や思いを出し合って、
お互いを高めていくことが、
支援の向上につながります。
一人の経験をみんなのものに、
一人の苦労をみんなに分かち、
学び、協働し合う支援者の輪を
地域に作っていきましょう。**

ご静聴ありがとうございました。